

# 第1学年 進路指導年間計画

| 月 | 目標                             | 目標達成へのポイント   | 日 曜  | 主な学校行事      | 日 曜   | 進路行事             | 学習の流れ  | 生徒(親)へのアプローチ  | 指導上の留意点   |
|---|--------------------------------|--|------|-------------|-------|------------------|--|---|---|
| 4 | 西高生としての生活習慣を身に付ける              | <ul style="list-style-type: none"> <li>高校での生活習慣に切り替えることで、スムーズな学習を目指そう</li> <li>国数英の各教科での学習の仕方(予習→授業→復習)を身に付ける</li> <li>担任との面談を通し、入学後の不安を払拭しよう</li> <li>学習だけでなく、自己伸張を図る場所(部活動など)を作ろう</li> </ul> | 8    | 火 入学式       | 15    | 火 進路シラバス説明(LHR)  | <p><b>学習スタイルの確立</b><br/>西高は授業で受験対応できるレベルまで保証している。授業内容を完璧に自分の力にするために。予習→授業→復習のサイクルを確立させよう。</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>進路シラバス説明。進路目標を早期に設定させる。(進路希望調査に向けて)</li> <li>個人面談①(全員面談) 高校生活全般・学習習慣・進路希望</li> <li>進路研修会 保護者</li> <li>進路通信① GWの過ごし方、今後の流れ(進路希望調査→科目調査)</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>進路目標達成のためには、学習習慣の早期確立と基礎基本の確実な定着が必要であり、授業が重要であることを確認する。「1学年進路指導資料」を活用(1回目)し、進路学習の概要を理解させる。</li> <li>進路希望調査(5月中旬)までに実施。まずは生徒理解(進路意識も含む)。生活・学習習慣について確認とアドバイス。進路目標を意識させる。</li> <li>生徒の進路目標達成には、家庭の理解・協力が不可欠であることと、家庭学習の重要性を理解してもらう。「1年生進路指導資料」を活用(2回目) 関与と助言。</li> <li>GWでの学習活動の啓蒙(部活だけで終わらせないと、進路についても考えさせる。志望校の設定とその受験科目を自分で調べさせる。</li> </ul>   |
| 5 | 自分の可能性を探る                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>自己の適性について考え、将来の職業や科目選択について考える</li> <li>高校生活の意義や「学ぶことの楽しさ」、現在やるべきことを明確にしよう</li> </ul>  | 7    | 水 生徒大会      | 12    | 月 進路希望調査①(LHR)   | <p>3年生の文理選択への繋がりを意識しよう。自分の興味関心のある学問や職業の分野を見つけ、具体的進路目標を設定しよう。</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>進路希望調査①</li> <li>進路通信② 科目調査に向けて→大学入試のしくみ、受験科目調べ</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>進路希望調査を踏まえ生徒個々の進路意識を把握する。「とりえず北大」から「絶対に北大」「これがやりたいから〇〇大」の意識を植え付ける。</li> </ul>  |
| 6 | 西高生は三兎を追い<br>学習+行事+部活動に手を抜かない。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>西高祭の準備等と学習にメリハリをつけよう</li> <li>定期考査の成績をもとに学習習慣について見直そう</li> <li>全国模試に向けて、目標を設定し達成に向けて準備しよう</li> </ul>  | 3    | 火 運動会       | 6     | 金 教科・科目選択説明 学年集会 | <p>模試は単に学力を測るだけが目的ではない。模試受験で学力アップを図り、進路目標に一步近づこう。そのためには受験前の目標の設定・模試に向けた学習準備・実施後の自己採点解き直しが不可欠だ。1学年模試と定期考査の結果が大きくずれるのある生徒(特に模試の方が大幅に好結果である)は要注意。その後下降線をたどる傾向が強い。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>入試概要説明、文理・教科科目選択 入試制度の概要を把握し、入試と科目選択の関係について理解させる。2年生の科目選択・3年生の文理について考えさせる</li> <li>興味関心のある学問を探し、文理の系統との関連を知る。自己理解と今後の進路への取り組みについて考えさせる。文理科目選択に向けてきっかけづくり。</li> <li>個人面談②(抽出面談) 成績不振者・学習習慣不十分者を中心に実施</li> <li>進路通信③ 進路希望調査の結果、オープンキャンパス情報、進研模試に向けて</li> <li>進研模試① 基礎力の定着度を確認させ、模試受験態度を確立させる。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>学年進路から入試概要を理解させる。文理科目希望調査に向け入試科目を調べ、進路希望とのつながり意識させる。</li> <li>学年教務から本校の文理・教科科目選択の概要を説明。</li> <li>「学問」=「仕事」とは限らず、大学卒業後の職種も多種多様であり、『就職に有利』資格が取れるから』といった観点で安易に文理選択をさせないよう指導する。</li> <li>定期考査から夏休みまでの間に、定期考査の結果を参考に、今後の学習の目安について考えさせる。また、教科・科目選択についてのアドバイスも適宜行う。</li> <li>指定模試、英数国、模試データの蓄積が個々の学習の指針となることなどを理解させ、真剣に受けるよう指導する。事前指導・事後指導の徹底を図る。</li> </ul>  |
| 7 | 将来を思い描き、夢実現のスタートを切る            | <ul style="list-style-type: none"> <li>西高祭と学習にメリハリをつけよう</li> <li>夏期講習に積極参加。実力をつけて将来の可能性を広げよう</li> <li>大学調べ、オープンキャンパスへの参加。大学を知る</li> </ul>  | 2    | 水 1学年P懇①    | 11~13 | 金~日 西高祭          | <p>基礎力養成期<br/>国英数はすべての学習の基礎となる教科である。まずは3年間乗り切る基礎力を身に付けよう。</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>学年P懇談会 7月模試の予定と取り組み方について説明。文理選択に関するアドバイス。外部講師からも説明。</li> <li>スタディニュース→夏休み前</li> <li>夏期講習(前期) 基礎力の確実な定着を目指す。弱点克服のために考査の結果・授業内容を再点検し、夏休期中の学習の指針を持たせる。</li> <li>オープンキャンパス 大学の雰囲気を感じることで、進路意識を向上させる。</li> <li>進路通信④ 進研模試に向けて、実施の意義や目標設定、取り組み方</li> <li>夏期講習(後期) 基礎力の確実な定着を目指し、休業中の学習の総仕上げを行わせる。</li> <li>学問、仕事を学び、自己理解と進路への取り組みについて考えさせる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じ入試概要を説明すると共に、翌月の進研模試の結果を親も気に留めて欲しいことを伝える。また、夏休みの過ごし方についても触れる。文理選択に関しては、安易に理系志向に陥らないようアドバイスしたい。</li> <li>英数国の基礎力を確かなものとするために、積極的な受講を促す</li> <li>希望者。夏季休業明けの学習意欲を高揚させるために、積極的に参加するよう学年全体で働きかける。実施後にレポートにまとめさせ、成果を確認させる。</li> <li>学校生活の様子や進路・文理選択等の情報やアドバイスを提供し、家庭との信頼関係を築く。家庭においては進路に関して十分に話し合うよう伝えたい。</li> <li>英数国を中心に、部活との両立を意識させる。なお、講習は休業明けの課題確認テストに向けた学習とのバランスを考慮した内容とする。</li> <li>「学問」=「仕事」とは限らず、大学卒業後の職種も多種多様であり、『就職に有利』資格が取れるから』といった観点で安易に文理選択をさせないよう指導する。</li> </ul> |
| 8 | 前期の総まとめに向けて                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>課題確認テストで学習定着度を確認し、定期考査の準備を早急に始めよう</li> </ul>  | 18   | 月 始業日       | 18    | 月 課題確認テスト        | <p>小論文事前準備</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>学研『ステップ基礎層論文書き方ノート』を夏季休業中課題とし、翌月の小論文学習の事前準備しておく。</li> <li>課題確認テスト 既習事項の理解度・達成度及び応用力を測り、その後の学習の指針とさせる。</li> <li>進路通信⑤ 進研模試の分析、今後の学習の指針</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>小論文学習(夏期課題)を確実に取り組み、休業明けに提出させる。取り組み不十分者へは再提出させる。</li> <li>英数国のみ。80分200点。評定に加味する。</li> <li>模試の学力分析の流れ 進路で学力分析→学年会で提示・協議→教科&amp;担任→生徒</li> </ul>   |
| 9 | 前期の総まとめを行う                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査の見直しを確実にしよう。既習事項の定着が次のステップに繋がる</li> <li>土曜講習に積極参加。部活動加入者は学習との両立を意識しよう</li> </ul>  | 8~11 | 月~水 第2回定期考査 | 13    | 土 土曜講習Ⅱ 13.20.27 | <p>小論文指導①</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>個人面談③(全員面談) 進研模試の結果、科目選択の確認</li> <li>土曜講習Ⅱ 基礎力の確実な定着を目指し、前期の総まとめを行う。</li> <li>小論文指導①・② 小論文の練習を通して、社会的視野を広げ、論理的思考力・表現力を身につけさせる。</li> <li>進路通信⑥ 今後の進路行事(研究室訪問等)の案内、科目選択に向けて</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>教科選択までに実施。前期の学習状況、生活習慣について確認。定期考査や模試に向けて普段の授業を大切にすることを再度呼びかける。教科選択について確認。</li> <li>部活との両立を意識させる。講習に参加できない生徒には家庭学習の充実を促す。安易に休んだりしないように指導する。</li> <li>総合学習 業者の小論文トレーニングを利用。書き方ノート+添削。受験を想定した小論文指導ではなく、幅広い知識を身に付け、それを自己の論理的思考の材としての確に表現する力を養うための練習であることを理解させる。2回目は、リライト。</li> </ul>   |

# 第1学年 進路指導年間計画

| 月  | 目標                                  | 目標達成へのポイント  | 日     | 曜   | 主な学校行事   | 日     | 曜 | 進路行事             | 学習の流れ  | 生徒(親)へのアプローチ   | 指導上の留意点  |   |   |
|----|-------------------------------------|---|-------|-----|----------|-------|---|------------------|--|--|--|---|---|
| 10 | 学習面・生活面の再確認をする                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・西高生活への「慣れ」が「ダレ」に変化していないか見直しを図ろう</li> <li>・大学入試の受験科目等をしっかりと調べた上で、科目選択の最終決定を行おう</li> <li>・進路研究(研究室訪問や模擬講義等)を充実させ、将来の目標を明確にしよう</li> </ul>                      | 3     | 金   | 前期終業式    | 7     | 火 | 教科科目選択           | <p><b>基礎力完成期</b><br/>センター試験の国数英の範囲は2年生まで。1年次ですでに試験範囲の折り返し地点を迎える。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科科目選択・文理教科科目選択・文理の最終的な決定を行わせる。</li> <li>・土曜講習Ⅲ 11.18.25<br/>基礎力の確実な定着を目指し、授業内容の再点検を行わせる。</li> <li>・進路希望調査②</li> <li>・学年P懇談会<br/>文理選択に関して希望状況の説明。7月模試・定期考査等に関して分析と11月模試やその後の進路活動の説明をし、意識を高める。</li> <li>・進路通信⑦<br/>受験科目調べ、進研模試に向けて、進路行事参加者の声</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・志望校の入試科目を再度確認させ、教科選択との整合性を図らせる。この後の変更は非常に困難であることを確認する。</li> <li>・部活との両立を意識させる。講習に参加できない生徒には家庭学習の充実を促す。安易に休んだりしないように指導する。</li> <li>・第1回目の調べ方を生かし、再度進路先を確認する。定期考査・模試の結果・羅針盤セミナーなどを参考に自己の適性・興味関心についても考えさせる。また、まだ1年生なので安易にレベルを下げさせない。</li> <li>・進路目標をより具現化していくよう伝える。学習習慣・スタイルがまだ定着していない者は、この2ヶ月で身につけるよう促す。また、成績上位者へは、より高い目標設定をし、プラスアルファの取り組みが必要であることを理解してもらう。</li> </ul> |   |   |
| 11 | テストを活用して実力をつける                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・進研模試、定期考査に向けて十分な準備期間を設けて臨み、実施後の見直しで定着を図る</li> <li>・進路目標を高く設定してみよう。今の成績をキープすれば合格出来る大学より「頑張れば合格出来るかも」という大学を目指して勉強した方が成績・学習面で成果が上がる</li> </ul>                 | 26~28 | 水~金 | 第3回定期考査  | 1     | 土 | 進研模試②            |  | <p><b>数学は早くもIA終了。もうセンター試験だって受験できる。</b></p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・進研模試②<br/>基礎力の定着度を確認し、前回模試との比較させる。</li> <li>・小論文指導①・②<br/>小論文の練習を通して、社会的視野を広げ、論理的思考力・表現力を身につけさせる。</li> <li>・個人面談④(抽出面談)<br/>成績上位者に対して、目標は高く妥協しない志望校を考えさせる。</li> <li>・進路通信⑧<br/>進路行事の日程確認、進路希望調査の結果</li> <li>・土曜講習Ⅳ 29.6.13<br/>基礎力の確実な定着を目指し授業内容の再点検を行う。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定模試。前回模試データと比較しながら、冬季休業からの学習指針とする。事前指導・事後指導の徹底を図る。</li> <li>・冬休みまでに、模試結果や進路希望調査などを参考に、今後の学習の目安について考えさせる。ハイレベル模試の受験を促す。模試成績データ進路から提供</li> <li>・部活との両立を意識させる。講習に参加できない生徒には家庭学習の充実を促す。安易に休んだりしないように指導する。</li> </ul> |   |
| 12 | 自分を見つめ、大きな夢を描こう                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・冬期講習に積極参加。実力をつけて将来の可能性を広げよう</li> <li>・インターンシップ等に積極参加し、勤労観・職業観を育もう</li> <li>・冬休みの学習計画を立て、自分なりの学習方法を確立しよう</li> </ul>  | 5     | 金   | GTEC     | 22    | 水 | 進路研究会 2)保護者      |  |  | <p><b>進路通信⑨</b><br/>進研模試の分析、今後の学習の指針</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・進路研究会<br/>父母の進路意識高揚のため、外部講師による講演を行う。</li> <li>・冬期講習 前期<br/>基礎力の確実な定着を目指し、弱点克服のために考査・模試の結果、授業内容を再点検し、冬季休業中の学習の指針を持たせる。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月からの成績推移、学習活動の再確認。外部講師による進路情報提供などで、進路意識をより高めてもらう。</li> <li>・英数国の基礎力を確かなものとするために、積極的な受講を促す。</li> </ul>  |
| 1  | 2年後の自分をイメージしよう                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・センター試験まであと2年であることを認識し、進研模試に臨もう。受験後は直ちに復習しよう</li> <li>・先輩の受験状況等の把握に努め、受験をイメージしよう</li> <li>・難関大志望者は、ハイレベル模試を受験し、難易度の高い問題を体感しよう</li> </ul>                     | 16    | 金   | 始業日      | 10~   | 土 | 冬期講習 後期 10~14    |  |  |  | <p><b>進路通信⑩</b><br/>先輩のセンター試験の状況報告と今後の流れ</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・冬期講習 後期<br/>基礎力の確実な定着を目指し、休業中の学習の総仕上げを行わせる。</li> <li>・インターンシップ<br/>企業を訪問・見学し、社会の実際を考察させる。</li> <li>・課題確認テスト<br/>既習事項の理解度・達成度及び応用力を測り、その後の学習の指針とさせる。</li> <li>・進研学力テスト③<br/>基礎力の定着度の確認し、1年間の学習姿勢を総括させる。</li> </ul> |
| 2  | 1年間の成果を発揮しよう                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査に向けて十分な準備期間を設けて臨み、実施後の復習で学習の成果を定着させよう</li> <li>・模試の成績表が返却後、弱点分野を中心に再度解き直しをしよう。この2回目の復習で初めて成果が出てくる</li> <li>・3月~春休み~2年4月の過ごし方について学習計画を立て実行しよう</li> </ul> | 16    | 金   | 課題確認テスト② | 24    | 土 | 進研模試③            | <p><b>進路通信⑪</b><br/>3月から春休みの過ごし方についての啓発</p>                          |  |  |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・高1ハイレベル模試<br/>全国トップレベルでの現状を確認し、入試への意識づけをする。</li> <li>・1年次学力検討会</li> <li>・個人面談⑤(抽出面談)<br/>進研模試の結果、3月から春休みの過ごし方</li> </ul>  |
| 3  | 2年生0学期 この一ヶ月で2年生が決まることを認識し、主体的に学習する | <ul style="list-style-type: none"> <li>・土曜講習や春期講習に積極参加し、授業が不足する時期の学習を補う</li> <li>・合格者と語ろう会等機会を捉えて、進路意識を高めよう</li> <li>・例年、実はここで差が出る。焦ることなく、やるべきことを着実に実行しよう</li> </ul>                                | 24    | 火   | 後期終業式    | 2月28~ | 土 | 土曜講習Ⅴ 28.7.14    |  | <p><b>進路通信⑫</b><br/>進研模試の分析、今後の学習の指針</p>   |  |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・土曜講習Ⅴ<br/>基礎力の確実な定着を目指し、1年間の学習の再確認を行わせる。</li> <li>・春期講習<br/>次学年へ弱点を持ち越さないための最終点検を行わせる。</li> </ul>   |
|    |                                     |   | 24    | 火   | 後期終業式    | 2月21  | 土 | 春期講習 21.22.26.27 |  |  |  |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・合格者と語ろう会</li> </ul>   |

| 月 | 目標  | 目標達成へのポイント  | 日曜  | 主な学校行事   | 日曜  | 進路行事   | 学習の流れ  | 生徒へのアプローチ   | 指導上の留意点 |
|---|---|---|---|--|---|--|--|---|---------|
| 4 | <p>中核学年であることを自覚しよう</p> <p>1年次以上に学習・部活動・行事に取り組むのが中堅学年である。</p> <p>(学習・部活動・行事への取り組みが1年生の模範となれるの先輩の証である。)</p> <p>志望校について研究しよう<br/>進路希望調査を意識し、科目・配点も調べておく。</p>                 | <p>あらゆる教科の授業、高校生活すべてに集中せよ。</p> <p>・授業自体が受験勉強であることを意識して授業に取り組む。</p> <p>1年次は国数英を中心に基礎固めをしたが新たに理・社の基礎固めをすることを意識する。</p> <p>まずはゴールデンウィークまでを目標に精一杯やる。</p>   | 8   | <p>始業式</p> <p>9 課題確認テスト</p>  | <p>進路シラバス説明</p> <p>15 進路希望調査①</p> <p>個人面談①</p>  | <p>学習の流れ</p> <p>昨年以上に「<b>受験勉強＝授業</b>」を意識講習は申し込んだらサボらない。</p> <p>2年の始まり。<br/><b>小テスト・課題確認テスト・定期考査・模試の結果のプレをなくす。</b><br/>全てにおいて昨年以上の結果ができるようにする。<br/>大学受験は総合的な能力が絶対に必要。あらゆる教科の授業、</p>   | <p>生徒へのアプローチ</p> <p>・進路シラバス説明模試<br/>講習の年間予定表配布、説明。<br/>2年生前半の学習時間の減少は後から大きく響く。英数国は2年生でセンターレベルは終了する。理・社は習っている範囲ではセンターレベル完成を目標にする。学校祭、高体連などと多忙となるが、学習習慣を維持することが大切である事の再確認。</p> <p>・進路希望調査<br/>進路希望調査を4月中に実施することにより、講習、模試等を含めた年間の学習計画を立てさせる。</p> <p>・個人面談①(全員面談)<br/>学習習慣・進路希望</p> <p>・進路通信①<br/>GWの過ごし方、今後の流れ(進路希望調査一科目調査)</p>   | <p>指導上の留意点</p> <p>模試の受験、各講習の受講について考えながら、年間通した学習計画を意識させる。</p> <p>「行ける大学」ではなく、自己の興味関心に基づいた「行きたい大学」を意識させる。高い希望を持つことを促す。志望者の集団化を進める。</p> <p>5月中旬までに実施。2年次生活について確認するとともに、進路先を確認。</p> |         |
| 5 | <p>受験までの見通しを持ってまずは夏休みまで細々と学習を継続する。</p> <p>高体連一色になっていくが(良いことですが)、学習時間を0にしない。毎日少しの時間でも集中して学習する。</p>   | <p>・進路研究を通して、受験に必要な科目を確認。3年次の科目選択に備える。</p> <p>・学習時間と教科バランスをチェックし、学習習慣を見直そう。</p> <p>への取り組みに工夫がされているか?</p>  | 高体連   | <p>9 進路研修会①</p> <p>12 進路別ガイダンス</p> <p>旭川医大入試説明会</p>                        | <p>2年早々に3年の選択科目調査があります。進路と関わるこの選択のために、進路の方向性をしっかり考えよう。</p>  | <p>・進路別集会<br/>同じ進路志望を持つ生徒同士の仲間意識を形成することにより、精神的援助体制を構築させる。</p> <p>・進路研修会<br/>保護者の進路意識を高める。</p> <p>・進路通信②配布<br/>科目調査に向けて一大学入試のしくみ、受験科目調べ</p>   | <p>生徒の進路目標達成には、家庭の理解・協力が不可欠であることと、1年次の状況を理解してもらう。</p>  |   |         |
| 6 | <p>受験までの見通しを持ってまずは夏休みまで細々と学習を継続する。</p> <p>学校祭一色になっていくが(良いことですが)、学習時間を0にしない。毎日少しの時間でも集中して学習する。</p>   | <p>・西高祭の準備等と学習にメリハリをつけよう。</p> <p>・国数英の基礎固めの確認を7月模試で行うための準備を。</p> <p>・科目選択を通じて進路目標を明確にし、学習への意欲を高めよ。</p> <p>・朝学・すき間時間の活用など、学習への取り組みに工夫がされている</p>  | <p>3 運動会</p> <p>13 学年集会(教科選択等)</p> <p>10~13 第1回定期考査</p> | <p>17 小論文指導①</p> <p>個人面談②(～夏休み)</p> <p>札幌医大医学部説明会</p> <p>28 進研模試6月</p>     | <p>昨年同様、6月・10月・1月<b>全員受験の模試</b>です。その時点までの学習成果を確認する機会です。<b>11月からは理科と社会の問題も加</b></p>                                | <p>・小論文指導<br/>小論文を書く能力は受験科目として必須になることがあるのはもちろん、社会人になってからも必要とする能力であることを認識させる。</p> <p>・北大オープンキャンパス案内(LHR)<br/>北大作成の案内冊子配布。</p> <p>・個人面談②(抽出面談)<br/>成績不振者・学習習慣不定着者を中心に実施</p> <p>・進路通信③配布<br/>進路希望調査の結果、オープンキャンパス情報</p>  | <p>リライトは夏休みの宿題とする。リライト提出後、結果が帰ってきた時期にアンカー小論文がある。先を見据えて努力をすることを促す。</p> <p>申込みは各自。ほぼ全学部で実施予定なので、多くの生徒に参加を働きかける。特に体験入学は、模擬講義・実験などができる恵まれた機会であることをアピールする。</p> <p>定期考査から夏休みまでの間に、定期考査の結果を参考に、今後の学習の目安について考えさせる。また、教科・科目選択についてのアドバイスも適宜行う。</p>   |   |         |
| 7 | <p>受験までの見通しを持って夏休み中の予定をイメージする。</p> <p>学校祭一色になっていくが(良いことですが)、学習時間を0にしない。毎日少しの時間でも集中して学習する。</p> <p>学祭の余韻にいつまでも浸らない。受験生としてスイッチの切り替えをする。</p> <p><b>貴重な夏休みであることを意識しよう!</b></p> | <p>学祭準備で忙しいが、夏休み中の部活動・講習・オープンキャンパスなどの予定を確認。</p> <p>・西高祭と学習にメリハリをつけよう。</p> <p>・夏期講習に積極参加。目標は、国数英の基礎の完成。</p> <p>・オープンキャンパスに参加するなどして学部学科研究を進め、志望校について理解を深める。</p> <p>学祭後は課題確認テストの学習にも取り組んでみる。難関大志望者は学研ハイレベルを意識して学習する。</p> | <p>3 PTA懇談会</p> <p>11~13 西高祭</p> <p>24~ 夏季休業</p>        | <p>19.20.21.23 夏期講習Ⅰ</p> <p>26.27.28.29 夏期講習Ⅱ</p> <p>保護者面談①</p>            | <p>夏休みは、西高祭後の切り替えと、今後の自分が試される。学習リズムを取り戻すため夏期講習は必須だ!</p>   | <p>・進研模試7月<br/>早めに範囲を提示し、対策・準備をさせることで模試受験に対する意識を高く持たせる。</p> <p>・夏期講習Ⅰ・Ⅱ<br/>英数国の基礎力の定着、弱点の克服、発展的な学習など、それぞれが課題を設定し、目的意識を持って受講することを心がけさせる。講習年間計画や申込み案内のプリントで講習内容をよく確認した上で申し込むようにする。</p> <p>・進路通信④<br/>夏休みの過ごし方、ハイレベル模試に向けて</p>   | <p>指定模試<br/>進研模試が基礎力の定着度を表す1つの尺度になっていることを意識させ、安易に休ませないようにする。また、模試終了後の見直しの時間を大切に、復習を習慣化させるよう指導する。</p> <p>申込は1月前、夏休み中の学習計画の中に効果的に組み込むなど熟考したうえで申し込むよう指導する。西高祭後の学習に対する意識を回復させる機会として位置付け、積極的な受講を促す。</p>   |   |         |
| 8 | <p><b>貴重な夏休みであることを意識しよう!</b></p> <p>国数英の基礎の完成を目指しつつ、理社に積極的に取り組む。</p> <p>新人戦に向けて力が入るが、受験準備の大切な期間であることも忘れない。</p>  | <p>・課題確認テストで学習定着度を確認し、定期考査の準備を早急に始めよう。</p> <p>・課題確認テストへの取り組みを1年次以上に出来るか?(回数・集中度など)これが今後の学習への習性となる。</p> <p>・国数英の基礎の完成と理社への移行を意識して、定期考査の準備をすする。</p>   | <p>18 始業式・課題確認テスト</p>                                   | <p>3.4 北大オープンキャンパス</p> <p>小論文リライト</p> <p>23 学研ハイレベル模試</p> <p>勤医協一日医療探検</p> | <p>夏休み明け「学研ハイレベルテスト」(国・数・英)が前半までの大きな目標。<br/>任意ですが、今回は単なる腕試しではなく、2年前半の実力を測るために、</p> <p><b>国数英の基礎の完成。理社への移行</b></p> | <p>・北大オープンキャンパス<br/>北大希望者の中で昨年度は参加できなかった者は出来るだけ参加するよう促す。</p> <p>・小論文指導<br/>小論文を書く能力は受験科目として必須になることがあるのはもちろん、社会人になってからも必要とする能力であることを認識させる。</p> <p>・学研ハイレベルテスト<br/>上位層・難関校志望者向け。難関校志望者の学習は平均より早めに進めなければならない。本州ライバル校のいくつかは、2年生で受験範囲は全て終わる事を踏まえ、夏期休業中の学習成果を判断する目標として指導する。</p> <p>・進路通信⑤配布<br/>進研模試の分析、今後の学習の指針</p> | <p>・第一希望の学部を中心に参加させるが、総合入試のため、必ずしも第一希望の学部に入ることができないことを意識させる。</p> <p>リライトは夏休みの宿題とする。リライト提出後、結果が帰ってきた時期にアンカー小論文がある。先を見据えて努力をすることを促す。</p> <p>任意模試。入試で求められる高い応用力・記述力を身につけるために、進研模試とは違う問題形式、高いレベルの模試を受験する必要があることを理解させ、積極的な受験を促す。また、進研模試終了後の新たな学習目標の1つとしてアピールする。</p> <p>模試の学力分析の流れ<br/>進路で学力分析→学年会で提示・協議→教科&amp;担任→生徒</p> <p>部活との両立を意識させる。夏休み後～前期末までの学習計画(定期考査を含む)の中に効果的に取り込むようにさせる。日程的に案内配布から申込み日まで余裕がないので、迅速な対応が必要。申込み期日を厳守させる。講習に参加できない生徒には家庭学習の充実を促す。安易に休んだりしないように指導する。<br/>任意小論文。AOや推薦を想定する者にとってはこの時期からの受験が大切であることを伝え、強く受験を勧める。</p> |   |         |
| 9 | <p>前期の総まとめを行う。</p> <p>来月の見学旅行に浮かれな</p>  | <p>・定期考査の見直しを確実に行おう。苦手分野を明確にし、早急に立て直す。</p> <p>・受験生としてのシフトチェンジの時期が迫っている。国数英の基礎の完成と理社への移行の意識を一層高める。</p> <p>・土曜講習への積極参加。部活動加入者は、学習との両立を意識しよう。</p> <p>見学旅行の後に10月模試、第3回定期考査があることを意識し、今のうちに準備をしておく。その方が旅行を楽しめる。</p>         | <p>8~11 第2回定期考査</p> <p>17・18 体育大会</p> <p>18 PTA懇談会</p>  | <p>13.20.27 土曜講習Ⅱ</p> <p>19 小論文模試①</p> <p>北大薬学部説明会</p> <p>個人面談③</p>        | <p>国数英の基礎の完成。理社への移行</p>   | <p>・土曜講習Ⅱ<br/>学研ハイレベル後の講習となり、11月模試を見据えての講習となる。センターまでも残り1年半となり、着実な力をつけていくことが必要になる。</p> <p>・アンカー小論文模試①<br/>1年生で2度練習してきたことをベースに、大学入試にも対応できる本格的な小論文の練習を行う。</p> <p>個人面談③(全員面談)<br/>センター試験まで、1年半を切っている。見学旅行があり、浮ついてしまうが、見学旅行がゴールではない。勉強との両立を図るようにする。</p> <p>・進路通信⑥配布<br/>今後の進路行事(研究室訪問等)の案内、科目選択に向けて</p>             | <p>見学旅行が終わったら、受験生になるわけではなく、あくまでも再スタートを切る事を認識させる。11月模試まで1月を切っている。学習は継続性が必要であることを理解させる。</p>  |   |         |

| 月  | 目標   | 目標達成へのポイント  | 日曜 主な学校行事  | 日曜 進路行事   | 学習の流れ  | 生徒へのアプローチ   | 指導上の留意点   |
|----|--|---|--|---|--|---|---|
| 10 | 見学旅行一色になっていくが(良いことですが)、学習時間を0にしない。毎日少しの時間でも集中して学習する。<br>受験生としてのシフトチェンジ         | ・10月模試は国数英に理社も加わる。総合力で勝負せよ。<br>・3年次の科目選択最終決定で自分の可能性を減じることなく、受験生としての自覚を高めよう。<br>・理系は理科、文系は社会を含めた学習バランスの取り方を整理しよう。  | 3 前期終業式<br>6 後期始業日<br>20~24 見学旅行(〜25)            | 学年集会<br>SS医学セミナー①<br>北大研究室訪問(〜12月)<br>31 進研模試10月  | 受験生としてのシフトチェンジ   | ・進路通信⑦<br>進研模試に向けて、進路行事参加者の声  |   |
| 11 | 授業＝受験勉強を再確認する<br><br>冬休みまでの学習スケジュール・冬休み中のスケジュールを確認しておく。                        | ・授業が受験勉強であること再認識する。定期考査に万全の準備で臨もう。<br>・期間講習を理社の受験勉強の足がかりにしよう。<br>・進研模試、定期考査の見直しを確実にしよう。テストを通して実力をつけよう。<br>・考査終了後も受験生としての自覚を持ち、学習を継続する。                  | 25~28 第3回定期考査                                    | 1 進研模試10月<br>4 進路希望調査②<br>7.8.10 期間講習Ⅰ<br>11 小論文指導②<br>SS進路講演会<br>旭医TEMP(〜1月)<br>29 土曜講習Ⅳ | 全国の高2生が受験を意識する時期。すでに西高生の受験勉強は始まっているものの、見学旅行後の切り替えをはっきりとして、いよいよ、本格的な受験生としてシフトチェンジ!!<br><br>見学旅行後、最初の大切な講習。期間講習は放課後の1科目のみの講習なので、貴重な時間だ。これ以降の講習は理社が大幅に増えはじめる。 | ・進研模試 11月<br>早めに範囲を提示し、対策・準備をさせる。また、5教科受験であることを周知し、見学旅行後すぐの実施を意識させ、事前の準備を促す。<br><br>・期間講習Ⅰ<br>講習年間計画や申込み案内のプリントで講習内容をよく確認した上で申し込むようにする。<br><br>・小論文指導<br>昨年から継続している小論文の練習を通して社会的視野を広げ、論理的思考力・表現力を身につける。<br>・個人面談④(抽出面談)<br>難関大志望者及び医学科志望者に対する指導集団づくり、意識向上を図る<br>・進路通信⑧配布<br>受験生への代替確認、進路希望調査の結果 | 指定模試。見学旅行後の受験に対する意識向上のための模試として位置付ける。この模試から5教科が課される。理系は理科を、文系は社会を2科目受験させる。<br><br>70分 1コマ×4。見学旅行後の受験に対する意識向上のための講習として位置付ける。<br><br>業者の小論文トレーニングを利用。小論文指導①につづき、リライトを行う。アンカー小論文②に続く取組みであり、書く力の完成を目指す取組みであることを認知させる。<br><br>冬休みまでに、模試結果や進路希望調査などを参考に、今後の学習の目安について考えさせる。ハイレベル模試の受験を促す。模試成績データ進路から提供  |
| 12 | 志望校を明確にしよう<br><br>冬休みまでの学習スケジュール・冬休み中のスケジュールを再度確認し、実践する。<br>貴重な冬休みであることを意識しよう! | ・志望校を意識した科目選択も完了。第1志望はここから1年3ヶ月貫き通す覚悟を持とう。<br>・定期考査や模試の成績から目標ラインまでの距離を確認し、やるべきことを明確にしよう。<br>・土曜講習や冬期講習を学習計画に上手に取り入れて、学力アップを図ろう。                         | 22 終業日<br>23~ 冬季休業<br>保護者面談②                     | 6.13 土曜講習Ⅳ<br>20.21.24.25.26 冬期講習Ⅰ<br>駿台模試返却会、難関大イブニング<br>11 進路研修会②<br>SS医学セミナー②          | 理科1科目以上の完成   | ・土曜講習Ⅳ<br>理社へのシフトが必要な時期となってくるが、同時に弱点克服も必要となる。学習時間確保が成績向上への一番の近道である。何が必要なかしっかり考え、戦略性を持って学習するようにさせる。<br>・冬期講習Ⅰ<br>早期対策模試や西高チャレンジを見据え、センター試験レベル完成の必要性を理解することが大切。5教科のバランスも考慮する。<br><br>・進路研修会<br>父母の進路意識高揚のため、外部講師による講演を行う。<br><br>・進路通信⑨<br>進研模試の分析、今後の学習の指針                                       | 部活との両立を意識させる。定期考査後〜冬休みまでの学習計画の中に効果的に取り込むようにさせる。申込み期日を厳守させる。講習に参加できない生徒には家庭学習の充実を促す。安易に休んだりしないように指導する。<br><br>冬休み中の学習計画の中に効果的に組み込むなど熟考したうえで申し込むよう指導する。特に前期は、冬休み中の学習ペースを形作るきっかけとして捉えさせ、積極的な受講を促す。後期では部活動との両立を意識させる。<br><br>4月からの成績推移、学習活動の再確認、外部講師による進路情報提供などで、進路意識をより高めてもらう。<br><b>模試の学力分析の流れ</b><br>進路で学力分析→学年会で提示・協議→教科&担任→生徒  |
| 1  | 貴重な冬休みであることを意識しよう!<br><br>自律した学習を身に付けよう。                                       | ・3年初期は忙しい。2年1月から3月まで主体的に学習できるかどうかで、1年後の方向性が決まることを認識しよう。<br>・1月模試の解き直しを徹底し、課題を学習計画に反映させよう。<br><br>3年生はどんな風に冬休みを過ごしているか? 来年は自分たちだと意識し、大事に冬休みを過ごす。         | 16 始業日・課題確認テスト①<br>17.18 (センター試験)<br>20 課題確認テスト② | 9(インターシップ)<br>11~ 冬期講習Ⅱ<br>23.24 進研模試1月<br>小論文リライト<br>旭医TEMP病院実習                          | 3ヶ月連続で模擬試験。ここまで、早くも理科1科目以上の完成を目標とします!!   | ・インターンシップ<br>受験を意識した学習の他に、広く社会を覗いてみることの必要性を意識させる。<br>・冬期講習Ⅱ<br>早期対策模試や西高チャレンジを見据え、センター試験レベル完成の必要性を理解することが大切。5教科のバランスも考慮する。<br>・進研模試1月<br>冬休み前に範囲を提示し、対策・準備をさせる。冬休み中の学習の成果を試す機会として意識させる。<br><br>・小論文指導<br>昨年から継続している小論文の練習を通して社会的視野を広げ、論理的思考力・表現力を身につける。<br>・進路通信⑩配布<br>先輩のセンター試験の状況報告と今後の流れ     | 企業への訪問・見学が活動の中心となるが、その業務に関することにとどまらず、親以外の大人と接し、人生・社会について見聞を広めるという体験をすることが目的であることを理解させる。したがって、自己の進路希望に合致しない業種でも、積極的に参加するよう働きかける。<br><br>安易な欠席をしないよう、目的意識をはっきりさせる。<br><br>指定模試。冬休み中の学習の成果を試すテストという位置付けから、冬休み前に前2回の進研模試の結果を振り返らせ、修正すべき点を冬休み中の取り組み課題として設定し準備させる。<br><br>業者の小論文トレーニングを利用。小論文指導①につづき、リライトを行う。アンカー小論文②に続く取組みであり、書く力の完成を目指す取組みであることを認知させる。  |
| 2  | センター試験を体感することで、今後のスケジュールを立てよう。   | ・センター早期対策模試、西高チャレンジ受験を通して、センター試験への意識を高めよう。<br>・定期考査に向けて十分な準備期間を設けて臨み、実施後の復習で学習の成果を定着させよう。<br>・学習した成果は単なる暗記でない限りすぐには出ない。焦らず取り組むことが大切。                    | 4.5 野外学習<br><br>24~27 第4回定期考査                    | 6.7.9 期間講習Ⅱ<br>14.15 センター早期対策<br>20 小論文模試②<br><br>・個人面談(〜春休みまで)<br>28 土曜講習Ⅴ               | この時期から3年0学期はスタート。授業が少ない分、模試・講習は最重要。  | ・期間講習Ⅱ<br>学習習慣の再定着。西高チャレンジに向けての準備。<br><br>・センター早期対策<br>センター形式の問題に慣れることが目標である。<br><br>・アンカー小論文模試②<br>2年間を通じて行ってきた小論文指導の集大成。入試に小論文が必要な生徒はぜひ受験するように。<br><br>・2年次学力検討会<br><br>・個人面談⑤(抽出面談)<br>進研模試の結果、3月から春休みの過ごし方<br><br>・進路通信⑩<br>早期対策マーク、3月から春休みの過ごし方についての啓発                                     | センター試験まで1年を切ったことを再確認し、知識のさらなる定着をめざす。2・3月は学習時間が減少する。この時期の減少は受験結果に大きく響くことになる。学習習慣のより強い定着を生徒に促す。<br><br>任意模試。任意模試ではあるが、センター試験を受験予定の全生徒が受験するよう促す。<br><br>任意小論文。小論文指導→リライト→アンカー小論文(模試)という流れで行ってきた。その集大成の模試となる。受験科目に小論文がある生徒に対しては、必ず受けるように指導し、現在の実力把握に努める。<br><br>ねらい: 生徒の学力把握。上位生徒の進路志望。3年次への引継ぎ。資料: 3回の進研模試SS(国、数、英、総合)、クラス順・上位順<br>模試結果等を踏まえ3月から春休みに取り組みべき課題を確認し、自主的な学習を促す。冬〜春休みの過ごし方が2年生の生活・学習につながることを気付かせる。先輩の模試データを参考にしよう |
| 3  | 3年生0学期。春休みは、受験勉強の天王山。<br><br>1, 2年で習った科目の苦手領域を復習する。(基本レベルでもよい)                 | ・土曜講習や春期講習に積極参加し、授業が不足する時期の学習を補う。<br>・土曜講習や春期講習に積極参加し、授業が不足する時期の学習を補う。<br>・例年、実はここで差が出る。焦ることなく、やるべきことを着実に実行しよう。<br>・2年の目標である国数英の基礎の完成+理科の既習事項の完成を完了しよう。 | 1 卒業式<br>4~ 高校入試<br>24 後期終業式<br>25~ 学年末休業        | 7.14 土曜講習Ⅴ<br>4, 5 西高チャレンジ<br>21.22.26.27 春期講習<br>合格者と語る会                                 | 国・数・英の完成<br><br>春休みを含め、いよいよ、センター国・数・英の完成を目標とします。   | ・土曜講習Ⅴ<br>土曜講習Ⅳと同じ。<br><br>・西高チャレンジ<br>仮想センターとして受験。休み時間以外は全く同じ処理を行う。10ヶ月後をイメージするとともに、2年次1年間の努力を確認する。<br><br>・春期講習<br>基礎力の定着、弱点の克服、発展的な学習など、それぞれが課題を設定し、目的意識を持って受講することを心がけさせる。講習年間計画や申込み案内のプリントで講習内容をよく確認した上で申し込むようにする。<br><br>・進路通信⑩配布<br>進研模試の分析、今後の学習の指針                                      | 土曜講習Ⅳと同じ。<br><br>センター早期対策模試と西高チャレンジの2回の模試を2学年の総合復習と3学年に向けてのスタートとするように指導。また受験後は時間がある時期なので、学習時間向上へと確実に結びつこうにフォローする。<br><br>1・2年生の総復習の機会として、また春休み中の学習ペースを形作るきっかけとして、積極的な受講を促す。<br><br>模試の学力分析の流れ<br>進路で学力分析→学年会で提示・協議→教科&担任→生徒   |

| 月 | 目標                                 | 目標達成へのポイント  | 日曜               | 主な学校行事  | 日曜                             | 進路行事   | 模試( )は校外実施   | 学習の流れ       | 生徒(親)へのアプローチ  | 指導上の留意点   |
|---|------------------------------------|---|------------------|---|--------------------------------|--|--|-------------|---|---|
| 4 | 進路実現に向けて好スタートを切ろう                  | ・志を高く学習に臨もう<br>・これまで以上にやるべき事が多くなるが、粘り強く学習しよう。<br>・入試スケジュールの流れをしっかりと把握し、先の見通しを持って取り組もう。  | 8火<br>9水<br>10木  | 始業式・入学式<br>課題確認テスト<br>学年集会                      | 10木<br>12土<br>19土<br>26火       | 進路シラバス説明<br>土曜講習Ⅰ<br>進路希望調査                        |  | 第3学年 年間指導計画 | 進路シラバス説明<br>○ LHRを通して志望校・受験教科を意識し、学習意欲を高めさせる。面談等を活用して個別にアドバイスを。7月までに国数英の記述力を高めるよう意識して学習させる。理社の学習が遅れないように注意を促す。 札医、旭医推薦・AO入試受験者への指導。準備には時間がかかることを理解させる。推薦入試を考えている生徒は、小論文模試や小論文講習に積極的に参加するよう指導する。<br>○ 進路通信① 【志望動向検討会①】→個人面談  | ○ 自分の興味・関心から、受験校=『行きたい大学』になっているか再考させる。受験教科、科目をしっかりと理解させる。また、受験までの各期間を見通し、部活動を視野に入れた学習計画を立てさせる。<br>○ 志望動向検討会の情報を踏まえ、個人面談等を通して、推薦入試を考えている生徒、特に旭医大・札医大推薦入試の希望者を掌握する。<br>○ 新クラスの状況把握・引き継ぎ・AO推薦希望生徒把握。資料：昨年度の資料に西高チャレンジを加えて検討。クラス順・志望別<br>○ 年間の模試講習計画について  |
| 5 | 部活動をやり切る。学習への取り組みは途切らせない。          | ・部活動に最後まで取り組みながら、限られた時間でもしっかりと学習しよう。<br>・6月から定期考査、進研マーク、記述模試と続く。受験生立ち上がりの目標と位置づけて取り組もう。                                       |                  |   | 12月<br>13火                     | 学研小論文講習会①<br>小論文模試①                                |  |             | 部活動との両立<br>5月マーク模試の受験については、部活動との兼ね合いを各自に判断させる。合格体験記の卒業生のアドバイスを自分に当てはめることにより、学習の道筋を確認させる。<br>○ 進路通信②   | ○ 模試を受けないことに不安感を持つ生徒に留意する。<br>○ 高体連終了後の学習について、考えさせる。<br>○ 進路希望調査の結果から学習時間と志望動向について  |
| 6 | センター試験対策を本格的にスタートさせる。              | ・部活動引退後一気に切り替え、平日5時間を前提とした受験体制に。ロケットスタートを切れるかが勝負の分かれ目。<br>・弱点分野の克服に向けてひたすら学習一筋になろう。<br>・夏休みまでの講習模試計画を立て、目標を明確にしよう。            | 2月<br>3火<br>10火  | 学年PTA懇談会<br>運動会<br>定期考査(～13)                    | 13金<br>20土<br>21土<br>23日       | 学年集会(考査後)<br>期間講習Ⅰ                                 | 進研<br>進研記述模試   |             | 部活動引退後の切り替え<br>○ 「進路の手引き」を活用し、卒業生の学習への取り組みを参考にさせる。<br>○ 5月模試を受験した生徒については、その弱点を認識させ、補強を図らせる。苦手教科の克服と理社を計画的に仕上げることを意識させる。<br>○ 進路通信③&模試講習申込計画表配布  | ○ これまで、学習が不足がちであった生徒に対して、部活引退後良いスタートが切れるよう、留意する。定期考査や6月マーク、期間講習を活用させ、学習のペース作りを意識<br>○ 夏期講習の受講や夏以降の模試受験計画を検討させる時期。西高祭後の学習について見通すよう指導する。<br>○ 模試講習申込計画、大学案内・推薦AOの募集要項、指定模試について  |
| 7 | 西高祭準備期間も切り替えと集中力で計画的に学習に取り組む。      | ・限られた時間の中で前進するために、予習授業復習を中心とした学習リズムを確立しよう。<br>・西高祭後直ちに、平日5時間、休日10時間の受験体制に切り替えよう。ロケットスタートを切れるかが勝負<br>・志望校研究を行い、モチベーション向上に努めよう。 | 11金<br>24木       | 西高祭(～13)<br>夏季休業(～17)                           | 23水<br>19土<br>23水              | 赤本購入幹旋<br>小論文模試②<br>夏期講習Ⅰ・Ⅱ<br>学年集会(終業日)<br>保護者面談① | (東大ブレ)<br>(京大ブレ)   |             | 西高祭後の切り替えと夏期講習の活用<br>○ 西高祭準備期間に、学習時間がゼロにならないように指導する。学習計画を明確化することが、学習に集中するためには不可欠であることを理解させ、西高祭後の学習に向かわせる。<br>○ 弱点科目・分野を把握し、受験までの日数・時間を考慮した上で、夏休みの学習計画を考えさせる。<br>○ 8月志望校調査→9月センター願書作成の流れを確認<br>進路通信④⑤  | ○ 西高祭後の授業や模試受験を通して、学習に対する姿勢を立て直すよう指導する。ここでの学習習慣が、後々まで響いてくるので十分注意する。<br>○ 6月マーク分析の流れ<br>進路で学力分析→学年会で提示・協議→教科&担任→生徒<br>○ センター願書に関わるので、受験科目等再度確認させる。<br>○ 6月マーク模試の結果分析。夏休みの過ごし方  |
| 8 | 夏は受験の天王山。センター試験や志望校の過去問に取り組む。      | ・赤本でまず1年分の問題を解き傾向を把握。<br>・分からない問題や面倒な問題こそが、ステップアップへ繋がる。諦めず取り組もう。<br>・計画倒れにならないように、都度修正しながら実行していこう。                            | 3日<br>4月<br>18月  | 北大オープンキャンパス<br>始業日                              | 1金<br>19火<br>22土<br>23土<br>25日 | 夏期講習Ⅲ(～4)<br>進路希望調査②<br>期間講習Ⅱ                      | (東大・京大オープン)<br>(東大・京大実戦)<br>(代ゼミ全国センター模試)<br>第2回全統マーク模試<br>第2回全統記述模試 |             | ○ あらためて、授業を大切に落ち着いた学校生活を送れるよう指導する。この先模試・講習が続くので、心身ともに健康を維持できるように、意識させる。<br>○ 模試に対する取り組みが消極的にならないように注意させる。回数をこなすだけでなく、目標設定をしっかりさせる。<br>○ 進路通信⑥ 【志望動向検討会②】→個人面談   | ○ 志望動向検討会では、教科担も交え意見交換を行い、生徒情報を共有し、夏休み後の担任指導、教科指導に活用する。夏休み以降、受験ムードが高まる中、心身不調になる生徒に留意する。<br>○ 志望動向検討、弱点分野、AO推薦の確認。資料：6月進研マーク+進研記述模試。クラス順・志望別<br>○ 進研記述模試の結果分析  |
| 9 | これまで受けてきた模試を再度解き直す。模試の解答解説は最高の参考書。 | ・手当たり次第問題に取り組まない。模試の解き直しが効果的な受験勉強であることを認識しよう。<br>・手当たり次第問題に取り組まない。模試の解き直しが効果的な受験勉強であることを認識しよう。                                | 8月<br>17水<br>25金 | 定期考査(～11)<br>体育大会(～18)<br>学年PTA懇談会<br>【指定校推薦会議】 | 16火<br>16火<br>20土<br>27土<br>4日 | LHRセンター願書書き方指導<br>小論文模試③<br>土曜講習<br>進研マーク模試        |  |             | 模試・講習の活用 センター出願準備 推薦会議<br>○ 個人面談を通して、生徒の進路を把握し適切な進路指導を行う。模試の結果にこだわりすぎないよう、また、安易に目標を下げないようアドバイスする。講習の活用を助言する。<br>○ 11月から本格化する推薦入試に向け、意志確認も含め適切な指導をする。<br>○ センター出願に向けて、願書の書き方はもちろんのこと、今後の提出物やその期限をしっかりと守らせるなど、出願への緊張感を高めていく。また、10・11月と続く模試について理解・把握させ、適切な選び方、受験の仕方をアドバイスする。<br>○ 進路通信⑦&模試講習申込計画表配布<br>専門学校進学希望者の出願指導や面接指導をする。 | ○ 学習の成果がなかなか出ず、自信を持っていない生徒に注意する。判定の良し悪しよりも、分野ごとの出来不出来を把握するなど、新たな学習課題を設定するよう指導する。<br>○ 推薦入試への意志を再確認する。また、センター試験を必要としない大学や、短大・専門学校志望者、就職希望者の有無を確認する。<br>○ 願書の書き方指導で、担任間での指導のズレがないように注意する。特に、理社の科目数の事前登録については、間違いないように注意する。開示請求についても指導する。<br>○ 人数が少ないので、担任は、専門学校への出願時期を間違いないように把握し、出願ミスがないようにする。<br>○ 全統マーク模試の結果分析、理科社会の追い込み |

### 3学年進路指針

1. 中間層(SS55～)の生徒をSS64まで引き上げ、北大に挑戦できる学力を身につけさせる。
2. 難関大、医学部医学科志望者の指導を充実させる。
3. センター試験後の受験校決定を確実なものにするため生徒や保護者との面談を徹底する。

指定:センター対策本格スタート

指定:受験に必要な総合力を測る

任意(難関向け)理想:国数英は勝負できる状態

任意:天王山の夏の確認

任意:全統センターとのドッキング

任意:センターまで4ヶ月目標点を意識しながら受験

【予習復習を中心に基礎固めをする時期】

【苦手科目や弱点分野を克服し、入試の土台となる基礎を固める時期】

【実戦力を養うための問題演習を始める時期】

【志望校対策をスタートさせる時期。夏休みを最大限に活用して、問題演習などの本格的な受験勉強に取り組む。】

10月第3回全統マーク模試までにセンターレベルを一度完成させる。  
※センター本番の実力を100%とすれば、この時点で80%程度に持って行く。

| 月  | 目標  | 目標達成へのポイント   | 日曜                              | 主な学校行事  | 日曜                | 進路行事  | 模試( )は校外実施  | 学習の流れ   | 生徒(親)へのアプローチ  | 指導上の留意点  |
|----|---|--|---------------------------------|---|-------------------|---|---|---|---|--|
| 10 | 全統マーク模試を仮想入試と位置付けてセンターレベルを一度完成させるように計画を立案しよう。 | ・ここまでに一通り完成させることで、目標点に達していない分野を明確にし、残りの期間で立て直しを行おう。<br>・西高生は、ここから伸びる。判定に一喜一憂しないで、学習を着実に実行する。           | 3金                              | 前期終業日   | 1水                | センター願書提出  | 校内実力テスト   | 第3学年 年間指導計画<br>【指定】先輩の実績から合格可能性を評価  | ○公募制推薦やAO推薦を希望する生徒を把握して、面接や小論文(AOについては「自己推薦文」)の指導をする。<br>○これまでの学習の区切りとなる第3回全統模試に向けて、しっかり準備させる。<br>○受験予定の学校の募集要項・願書は、早めに取り寄せることを確認する。ただし、北大については、学校で取りまとめて請求する。<br>○進路通信⑧ 【志望動向検討会③】 個人面談  | ○4月からの指導の継続になるので、この時期に生徒が申し出てくることのないよう留意する。<br>○全統模試までに、自分の取り組みを振り返らせるとともに、これ以降の学習に対して見直しをつけるようアドバイスする。<br>○センター試験後に、願書を取り寄せることのないよう、受験の可能性のある大学については、前もって願書を取り寄せておくよう指導する。<br>○弱点分野把握。10月～12月の指導の参考。資料：第2回全統マーク・記述模試。クズ順・志望別 今後の学習について。2次力の育成。2次の合格ライン                  |
| 11 | 大学別模試を受験し、2次力を育成する。                           | ・センターレベルの完成が順調であれば、大学別模試3つのうち2つ受験しよう。<br>・そうでない場合は1つに止めて、センタープレ受験などで、センター対策に重点を置こう。                    | 25火                             | 定期考査(～28)   | 14水<br>15木<br>17金 | 期間講習3<br>受験校調査  | (北大実戦)<br>(代ゼミ全国センタープレ)(北大プレ)<br>(東大京大OP,フレ,実戦)<br>全統センタープレ | 【入試実践力養成期】センター試験、2次試験の目標点を意識しながら問題演習や模試に取り組む時期<br>【任意】理科社会の2次力の完成を意識する<br>【指定】最後の指定記述模試<br>【指定】センターを一度完成させる | センターに向けた追い込み<br>○第3回全統模試の自己採点をもとに、生徒の成績が順調に伸びてきているかどうかを把握し、適切なアドバイスをする。<br>○ここからは、授業を含めてセンター対策中心になるので、気持ちをしっかり切り替えて学習するよう指導する。また、受験本番を意識し、朝型の生活サイクルを心がけるよう指導する。<br>○進路通信⑨ センター試験を受験しない生徒に配慮する。  | ○志望動向検討会の結果をふまえ、生活の仕方や学習への取り組み方について、冬休みまでの個人面談等で指導する。<br>○理社の準備遅れが目立つ生徒に注意して指導する。現役生は、これからの演習で大きく伸びるので、粘り強く学習するよう指導する。<br>○全統マーク模試の結果分析。センタープレに向けて   |
| 12 | センター試験に対応した学力を仕上げよう。                          | ・センター演習は、計時しながら過去問や予想問題を数多く解き、実践力を身に付ける。<br>・不正解の設定は、徹底的に見直して、今までにやったことは、確実に解けるように演習する。                | 23火                             | 冬季休業(～15)   | 5水<br>6木<br>8金    | LHR 調査書発行について<br>期間講習4  | (駿台センタープレ)  | 【任意】センター受験者は必須<br>計時しながら過去問や予想問題を数多く解き、実践力を身に付ける。練習も本番のように集中して取り組むことが大切。練習は本番のように。本番は練習のように。                | 冬期講習・リハテスト等の活用 センター当日の予定確認<br>○直前演習や二次講習は、その演習や講習の持つ意味をしっかりと理解させて、申し込ませる。<br>○私大の出願が始まるので、出願ミスのないように指導する。本州私大のセンター利用入試は1月中旬に出願が締め切られるので、特に注意を促す。<br>○センターまでの過ごし方や心構えの指導を徹底する。<br>AO・推薦合格者に対する指導を行う。進路通信⑩⑪   | ○直前演習①②は、センターテストに準じた時間帯で行うので、空き時間の有効な使い方などをアドバイスする。<br>○私立大学の出願が始まるので出願期間など確認させ、受験地の移動が必要な場合は注意点を理解させる。<br>○AO・推薦合格者に対して、3月までの過ごし方について考えさせる。(大学から課題があれば、それを中心とする)<br>○冬休み～センター試験～2次試験の学習、冬休みの過ごし方とセンター試験   |
| 1  | 本番で自分の力を出し切ろう。                                | ・焦りや不安をバネにして、センター試験に向け、前日まで追い込みにすべてを注ぐ。<br>・受験の心得等十分に把握するとともに、センター試験当日の時間割にコンディションを合わせた演習を心掛ける。        | 16金<br>17土<br>18日<br>19月<br>26月 | 始業日<br>【センター試験】<br>【センター自己採点】<br>【博商大推薦出願】<br>【私大入試開始】<br>3年登校日 | 16金<br>26月        | 学年集会<br>二次対策講習開始<br>個人面談<br>小論文・面接指導開始<br>出願校調査<br>学研小論文講習会②<br>進路指導に関するアンケート<br>【出願校検討会】 | 直前演習<br>個人面談  | 大学入試センター試験<br>センター後、学習する科目数が減ることにより、学習時間も減少しがち。教材を工夫する(基礎と実践)などして、センター直前の勢いを持続させる。西高生はここから勝負できる。            | センター自己採点 出願校検討会 2次出願<br>○センター当日の指示・連絡を徹底する。自己採点→センターリサーチ→出願校決定の流れを確認する。自己採点結果だけの安直な判断ではなく、2次試験まで伸びる可能性を十分に理解した上で判断させる。2次に向けてしっかり落ち着いた学習に取り組ませる。<br>○生徒や保護者の進路意識を把握し、適切なアドバイスを。また、センター自己採点の結果、2次講習の教科を変える必要がないか確認する。<br>○後期日程を見据えて、小論文講習や面接指導を申し込ませる。<br>○進路通信⑫⑬ 【出願校検討会】 個人面談 | ○自己採点後の生徒の心理状況を理解し、適切な助言をする。また、センター試験後の2次試験に対する気持ちの切り替えがスムーズに行われるように指導する。<br>○リサーチ返却後の出願校検討会の結果をふまえ、関係教員が一致した、適切なアドバイスを行う。また、2次試験の出願期間を把握させる。<br>○私大受験者に合格手続きの期間があることを確認しておく。<br>○出願校検討。資料：リサーチ・全統記述・実テ。クズ順・志望別。下浪私について事前確認。<br>○センター当日の流れと自己採点<br>センター試験の結果と2次試験対策のポイント |
| 2  | 現役生の2次力はこの時期で決まる。一心不乱に勉強するのみ。                 | ・2次講習を活用し、過去問演習を重ね、記述解答力を高める。<br>・生活リズムを守って、学習時間を十分に確保する。受験科目数は減るが、センター直前と同様の学習時間が求められる。               | 25水<br>27金                      | 【国公立大前期試験】<br>3年登校日   | 25水<br>27金        | 受験番号報告<br>二次対策講習終了  |   | 2次試験(前期)<br>2次試験(後期)  | 2次講習 受験番号の報告・管理 前期試験<br>○センター後6週間の頑張り、結果が大きく変わることを意識させ、最後まであきらめないことを訴える。<br>○受験番号の報告を徹底させる。   | ○センター結果に不安を持つ生徒へ、適切な助言をする。<br>○合格発表時に混乱しないよう、受験番号について正確な把握・管理をする。  |
| 3  | 後期日程の欠席率は5割以上。最後の最後まで諦めずに粘って受験しよう。            | ・後期試験までが受験であることを認識することが大切。前期で燃え尽きる人が多く、実は後期にも可能性は十分にある。<br>・面接や小論文は、対策の丁寧さが結果を大きく左右する。添削等納得のいくまで取り組もう。 | 1日                              | 卒業式<br>【国公立大前期発表】<br>【国公立大中・後期試験】<br>【国公立大中・後期発表】<br>【追加合格発表】   | 1日                | 卒業式   |   | 後期試験までが受験勉強。前期試験直後から後期の対策に入る。最後までやり切ることが将来必ず活きる。  | 合格発表、中・後期試験。追加合格。<br>○合格者の確認。進路決定へのアドバイス。<br>○不合格者には、追加合格の可能性のあることを伝える  | ○生徒個々の進学先を把握する。特に、複数校合格した生徒の進学先に注意する。  |